

新専門医制度 更新申請要件



新制度 (機構認定)

<p>単位数</p>	<p>50単位 (実質40単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 診療実績 (手術経験により10単位分充足) ② 共通講習: 8 ~ 10 単位 ③ 領域講習: 20 単位以上 (総論に関するeラーニング受講 (5単位必修) を含む) ④ 学術業績・診療以外の活動実績: 2 ~ 10 単位 (学術集会参加1回: 2単位、6単位が上限。その他の活動を加えて計10単位が上限)
<p>手術経験</p>	<p>100例</p> <p>上段①に該当、NCDへの登録が必須</p>
<p>費用</p>	<p>申請手数料: 11,000円 (税込)</p> <p>認定料: 22,000円 (税込)</p> <p>※認定料は、日本専門医機構の認定料11,000円を含む</p>
<p>連動更新</p>	<p>連動更新なし (現在準備中)</p> <p>将来的に6つのサブスペシャリティ外科専門医との連動更新を予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消化器外科専門医 ● 小児外科専門医 ● 心臓血管外科専門医 ● 乳腺専門医 ● 呼吸器外科専門医 ● 内分泌外科専門医

手術経験100例を満たすことで診療実績として10単位分充足されるため、②~④で**40単位**の取得で更新可能。

受講1時間 = 1単位

共通講習 8単位 (①~⑧) 必修

- ① 医療安全
 - ② 感染対策
 - ③ 医療倫理
 - ④ 医療制度と法律
 - ⑤ 地域医療
 - ⑥ 医療福祉制度
 - ⑦ 医療経済 (保健医療等)
 - ⑧ 両立支援
 - ⑨ 臨床研究・臨床試験
 - ⑩ 災害医療
- ※1項目の複数カウント不可

領域講習

各外科系学会が開催

※1時間以上2時間未満の場合は1単位。
連続2時間以上の場合は2単位と算定。


日本外科学会定期学術集会1回以上の**参加必須**、
外科サブスペシャリティ学会学術集会の参加。
例) 日本外科学会定期学術集会2回+サブスペシャリティ学会学術集会1回=計3回の参加で6単位。

従来同様の連動更新に向けて準備中。
将来的に6つのサブスペシャリティ外科専門医との連動を予定。

専門医更新者 単位数への配慮策〈2026年版〉

2026年度
更新の方への
配慮策

旧制度(学会認定)の更新要件20単位と按分した合計40単位で更新可能

	 新制度(機構認定)	旧制度(学会認定)
② 共通講習	8単位 (8種すべて必修)	—
③ 領域講習	20 10+ 20単位 (このうち5単位は外科総論講習を必修)	—
④ 学術業績・診療 以外の活動実績	2単位 (日本外科学会定期学術集会への参加1回:2単位)	20単位 (旧制度(学会認定)更新要件に倣い算定)
	40 20 40単位	20単位

POINT

☑ 新制度要件「領域講習 10単位減」

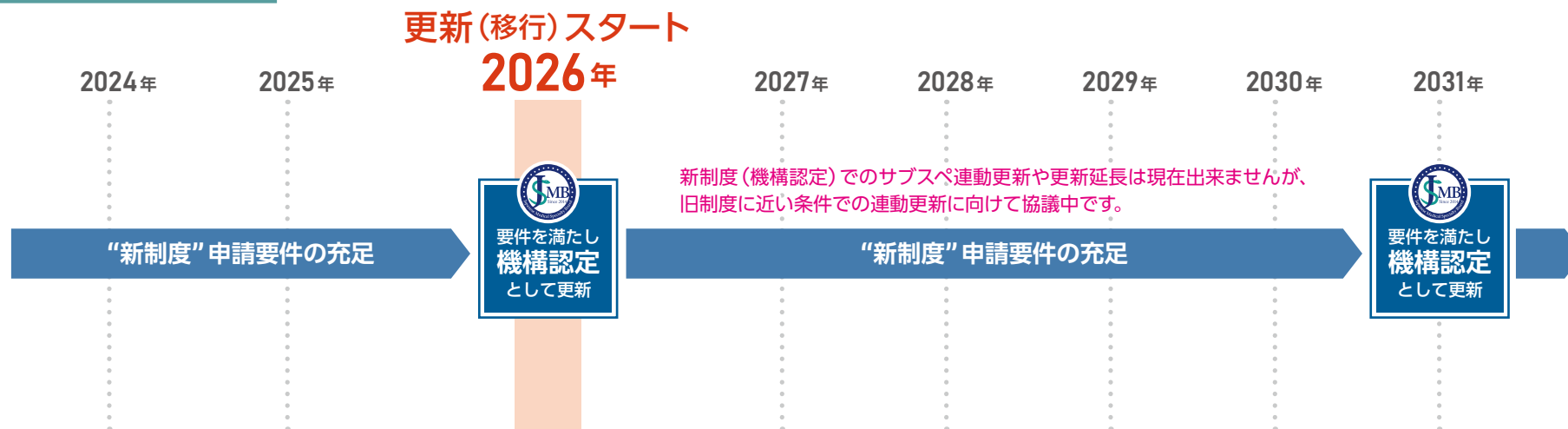
☑ 学術集会参加などの活動実績を20単位分
旧制度の更新要件で加算することが可能

例1 卒後教育セミナー受講 × 2 (旧制度: 10単位 × 2回 = 20単位)

例2 サブスペシャルティ領域の定期学術集会参加 × 4 (旧制度: 5単位 × 4回 = 20単位)

専門医 更新の流れ〈2026年版〉

更新要件を満たしている方



更新要件を満たせない方

